



# おうちにあるものでつくれるね

## 遊びを創ろう リサイクル工作

こなら楽舎 やさしいくらし

川崎市多摩区管子ども文化センター わくわくお楽しみ会

2012年12月22日  
おひるすぎ

大学生って  
ちょっと  
かっこいい

いつまでも  
こども

地域にある子ども文化センターには、赤ちゃんから人生のベテランまで多様な人々が集まっています。この日はお待ちかねのお楽しみ会。

家にあるもので遊びを創る→分解して片づける→次の人が使いやすいように用意するを一連の流れにして、みんなで一緒に楽しむ場をつくりました。

「譲り合いと誘い合い」を学生スタッフが誘導していきました。

### Recycle

身の回りにある廃品を何かに利用しようとする気持ちを共有。

### Reuse

繰り返し使い、物を大切にすることを伝える。

### Refine

使いやすいように分けて片づける習慣づけを体感。

### Repair

壊れたら直す。壊れないように工夫する気持ちを育む。

### Rental

貸し合い、譲り合う仲間づくりを応援する。



洗濯バサミやストローでできたミニエコカー。ペットボトルのキャップとクリップで釣り。端切れと包装リボンでキーホルダー。カレンダーの裏はミニカーを走らせるジャンプ台になりました。ゲームもルールも創るもの。大人も子どもも想像力と発想力を巡らせて楽しみました。  
\* 学生スタッフやさしいくらは「物や地域を大切にすることを分かち合うこと」を伝え広める活動をしています。一緒に考えるスタイルを活かし、お互いを尊重し合う考え方でコミュニティの抱える問題解決を見つめています。